

令和 7 年 12 月 25 日開催 和泉市教育委員会意見交換会並びに事前報告会要旨

出席者 大槻教育長、深堀職務代理者、西家委員、中西委員、小谷委員、木村委員

教育委員会事務局 辻教育次長、東部長、上田指導監、鍛冶次長、永井室長、西角室長、森下次長、前田室長、奥課長、大内課長、濱田課長、隅埜課長、岩井課長、柴田課長、仲谷課長、北野課長、藤木課長、橋本課長、富岡課長、横田館長代理

	議題	要旨
案件 1	教育委員会事務局の令和 8 年度当初予算要求方針について	<p>○各課（室）の予算の方向性</p> <p>【教育総務課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（仮称）富秋学園開校に伴う、図書室地域開放準備 ・夢レター（タイムカプセル）の掘り起こし（市制 70 周年記念事業） <p>【学校園管理室】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（仮称）富秋学園整備事業 ・学校施設大規模改修事業 ・（仮称）北西部こども園整備事業 ・小中学校給食費補助事業 <p>【学校教育室】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英検補助制度の対象拡充 ・中学校における探究活動の推進を目的としたプログラムの導入 ・副校長・教頭マネジメント支援員の配置 ・和泉ミライの教員育成事業実習生の拡充 ・和泉市版コミュニティ・スクールガイドのパンフレットの作成、学校支援事業者用冊子の作成 <p>【こども未来室】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中部地域新設認定こども園整備補助事業 ・民間保育施設等で医療的ケアが必要な特別支援児の受入に要する費用の補助 ・公立園において、保育日誌等の ICT 化の推進 ・北松尾小学校において、留守家庭児童会教室の増築 <p>【生涯学習推進室（生涯学習担当）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化体験イベント事業 ・青少年の家リニューアル事業 <p>【生涯学習推進室（スポーツ振興担当）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子地域ポイント事業（ウォーキングによるポイント付与） ・信太山クロスカントリー大会のライブ配信（市制 70 周年記念事）

<p>案件 2</p>	<p>和泉市立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画の策定について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・(仮称) 北部総合スポーツセンター基本計画策定事業 ・市民体育館空調整備事業 【文化遺産活用課】 ・市史編さん 70 周年記念冊子の作成 ・池上曾根遺跡公園整備事業 【久保惣記念美術館】 ・プロジェクションマッピング等のイベント開催 (市制 70 周年記念事) ・茶室耐震補強工事 (二期) ●委員の質問 ・学校教育室の新規項目としてあげている「中学校における探求活動の推進を目的としたプログラム」とはどのようなものか →世界中の多様な大人の生き方や価値観に触れながら、探求的な学びを深めるオンライン教育プログラムを想定している。経済産業省の補助金を活用し、今年度 6 月から一部の学校で活用している ○概要 ・公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法、いわゆる給特法等の改正を受け、教育委員会において、教育職員の業務量の適切な管理及び健康・福祉の確保のために講ずべき措置を計画的に実施するべく、「業務量管理・健康確保措置実施計画」を作成することが義務づけられた ○主な内容 (案) ・業務量、健康確保の観点として、時間外在校等時間の状況、年次有給休暇の取得状況、ストレスチェックの状況を記載する ・時間外在校等時間に関する項目と、ワーク・ライフ・バランスや働きがい等に関する項目の 2 観点で目標を設定し、数値目標を明示することで、進捗を「見える化」し、改善につなげることを重視する ・給特法の附則第 3 条に基づき、計画期間は令和 8 年度から令和 11 年度までの 4 年間とする ・国の指針に示す「業務の 3 分類」を踏まえ、業務内容を「①学校以外が担うべき業務」、「②教師以外が積極的に参画すべき業務」、「③教師の業務だが、負担軽減を促進すべき業務」の 3 つに分けて整理 ・授業時数管理、指導体制の見直しなどのカリキュラムマネジメントや校務 DX の推進の観点での取組を記載 ・保護者等に学校現場の現状や市の取組などを知ってもらい、学
-------------	---	---

<p>案件3</p>	<p>学力向上について</p>	<p>校運営への協力や学校の取組への理解の促進を図ることを目的にチラシを作成し、本計画を策定したタイミングで文部科学省作成のチラシとともに配布予定</p> <p>●委員の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間単位の休暇取得や在宅勤務の活用、勤務時間の時間単位でのスライド対応などについて、学校現場の実態も踏まえながら柔軟な対応ができるように進めてほしい ・目標を数値化することは分かりやすいが、時間外在校等時間を減らすにも業務量自体が変わらなければ難しいと思う。効率化できる部分をきちんと示すことで、学校からの理解がより得られるのではないか <p>○概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「いずみ希望塾」、「AIドリル」等の既存施策の評価分析と今後のあり方について整理・検討をする <p>●委員の意見（いずみ希望塾）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市全体への家庭学習習慣の定着の観点ではなく、主目的である経済的支援を有する児童生徒への学びの支援に効果があったかどうかを分析すべき ・本事業が経済的支援を有する児童生徒に周知され、きちんと申し込みに至っているかを検証する必要がある ・経済的支援と学力向上は切り分けて考える必要がある
------------	-----------------	--